

## 第 16 回 解析セミナー Analysis Seminar No. 16

日時： 5 月 27 日 ( 金 ) 15 : 00 ~

場所： 愛媛大学理学部数理科学棟 2 階 大演習室

講師： 中野 史彦 氏 ( 高知大学・理学部 )

題目： ランダムシュレーディンガー作用素のスペクトルのゆらぎについて

要旨： ランダムシュレーディンガー作用素の固有値のなす点過程の体積無限大の極限の下での振舞いを考えたい． $d$  次元格子上的ランダムポテンシャルを持つシュレーディンガー作用素の場合，この点過程はポアソン点過程に弱収束することが南就将氏 ( 筑波大学 ) により示されているので，より一般の場合にこの問題を考える．本講演では，途中経過報告として，この点過程の収束先が無限分解可能な点過程であることを論じる．